



冊子を手に投稿を読み返す
羽咋小学校の児童たち



新聞を活用した学習 「地鳴り」投稿で意欲高まる

羽咋市では全小中学校で新聞を活用した学習に取り組んでおり、令和6年4月～7年3月にかけて、地元紙である北國新聞の読者投稿欄「地鳴り」に羽咋市内の児童生徒の投稿239件が掲載されました。これらの投稿を「未来への礎～地鳴り239の声～」と題して冊子にし、市内全小中学校に配布しました。学校では、早速、子どもたちが手に取り、自分や友達の投稿を読み返す姿が見られました。

羽咋市教育委員会では、今年度も新聞を活用し、地域に根ざした教育を進めるとともに、読解力や文章力を高め、自分の考えを表現・発信できる子どもたちの育成に取り組みます。

教えて！ 消費生活

クーリング・オフについて

Q 1カ月前、ひょうの被害で家の外壁やベランダが破損してしまった。どうしようかと思っていたら、5日前にリフォーム業者が来訪したので300万円の工事請負契約をした。しかし、冷静に考え直すと代金を支払えそうにない。契約時にクーリング・オフの説明を受けたので、その方法を詳しく知りたい。

【消費生活の相談は市消費生活センター fax兼用②01133（来庁相談要予約） 相談時間 平日午前9時～午後4時】

A クーリング・オフとは、一定の契約に限り、一定期間内であれば無条件で契約を解除できる制度です。

訪問販売の場合、契約書を受け取った日から8日以内に、解除通知書（証拠のため両面コピーを保管）を業者に特定記録郵便などで郵送するか、メールなどの電磁的記録（証拠のため送付画面のスクリーンショットを保存）で送ります。クレジット契約をしている場合はクレジット会社にも解除通知書を送ります。消費生活センターでは、解除通知書の作成の手伝いをしていますので、気軽に相談してください。

なお、店舗・営業所での契約、通信販売、使用済みの消耗品、自動車、葬儀、事業者間の取引などはクーリング・オフの対象外です。



高山長五郎について書かれた伝記を、文化財保護課では2つ確認しています。

1つは、明治27年に書かれた「高山長五郎伝 一名養蚕改良高山社来歴」です。長五郎が養蚕の研究を志したきっかけや養蚕改良に苦戦したことなどのエピソードのほか、清温育の普及までの苦労などが書かれています。文末には、没後の功德碑の建碑式の盛大さや高山社の隆盛について記されています。

もう1つは、大正7年に高山社社員に配布された「高山長五郎翁略伝 全附逸事逸話」です。長五郎の三十三回忌に当たり製作・配布され、長五郎の逸話のほか、没後の高山社の活躍や、長五郎の思い出話が書かれています。長五郎の発言や性格、好み、容貌なども書かれており、生前の長五郎について知る手がかりとなっています。興味深いのは、文末で読者である高山社社員の「奮励努力」を促した後、「社長たる高山

2つの長五郎伝 ～伝記からうかがえる時代の変化～

武十郎氏の責務は更に一段の重きを加えたのだ」と書かれているところです。この伝記の刊行の前年には、高山社の2代目社長である町田菊次郎が亡くなってしまい、経営状態が暗転しつつあった高山社の状況が感じられるものとなっています。

2つの伝記を読み比べると、文末の印象が大きく異なっています。この間は、高山社にとって激動の24年間であったことを感じさせる内容となっています。



高山長五郎翁略伝全附逸事逸話

ふじおか 防災トピックス

Fujioka Disaster Prevention Topics

南海トラフ地震などの 大規模災害に備えましょう

南海トラフ地震は、おおむね100～150年の間隔で繰り返し発生してきた大規模地震です。前回の発生から既に約80年が経過し、次の南海トラフ地震が発生する可能性が高い状態です。

南海トラフ沿いで大きな地震などが発生すると、南海トラフ地震が発生する可能性が平常時より高まると考えられています。このため、南海トラフ地震の想定震源域周辺でマグニチュード7.0以上の地震が発生した場合には、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。内閣府ホームページには、南海トラフ地震および「南海トラフ地震臨時情報」に関するマンガ・リーフレット、動画が掲載されています。それぞれ右記2次元コードから見ることができます。

いつ発生するか分からない災害に備え、日頃から家具などの固定や避難場所・避難経路の確認などを行いましょう。市LINE公式アカウントには、藤岡市デジタル避難訓練（震災編）が開

災害時に自分や大切な家族を守るのは知識と備えです。「ふじおか防災トピックス」では、知りたい災害の知識やもしもの時にやるべき事など、いざというときに役立つ防災情報をお知らせしています。

【問い合わせ 地域安全課（☎②7444）】

設されています。地震が起きた時の避難方法や災害時の備え、防災情報の収集方法などを確認することができます。



【藤岡市デジタル避難訓練（震災編）の利用方法】

- ①リッチメニュー内の「防災」を選択します
- ②メニュー内の「デジタル避難訓練（震災編）」を選択すると訓練が開始します

